

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 15 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	33	施策名	文化の振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	中村重明
関係課名	図書館、埋没林博物館		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な芸術文化にふれる機会が多く、市民が活気と潤いに満ちています。 ・伝統文化が継承され、市民が郷土の伝統や文化に愛着と誇りを持っています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に芸術文化活動に参加します。 ・市の歴史や伝統文化、文化財に関心を持ち将来に伝えていきます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化振興のため、発表会や優れた芸術活動の奨励に取り組めます。 ・伝統文化、文化財の保護・継承に努めます。
	その他	

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動に携わる市民が固定化し高齢化する傾向にあるため、市民文化祭や市美術展、音楽のまちづくり推進事業といった既存の事業に加えて、新たな活動や若い世代を支援することにより、市民誰もが生活に潤いを感じ、心の豊かさを実感できる環境づくりが課題となっています。 ・指定文化財の保護・継承については、地元住民の減少や高齢化により民俗文化財の継承が困難な状況があり、後継者の育成が急務となっています。また、未調査の文化財についても早急に検証し、開発や破壊から保護・保全をする必要があります。
--------------------	--

施策No.	33	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
芸術文化活動の推進		恵まれた文化施設を活用し、市民による創作や成果発表などの活動を支援するとともに、美術や音楽などの優れた芸術文化活動に触れる機会を増やします。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
芸術文化振興事業		市民に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供し、文化芸術の普及と振興を図ります。								
音楽のまちづくり推進事業		各種音楽事業を実施し市民が気軽に音楽に親しめる環境を作ります。								
新川文化ホール運営事業		県文化振興財団を指定管理者として、ホール、展示事業を実施し鑑賞の機会を提供します。								
新川文化ホール鑑賞事業		児童・生徒に優れた音楽、舞台芸術の鑑賞機会を提供します。								
基本事業①の目的 【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
芸術文化活動に触れ、教養が高まったと感じる市民の割合	%	24.2	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27.0	32.0	
			22.6							
新川文化ホールや新川学ひの森天神山交流館の自主企画事業の参加者数	人	46,138	58,000	59,000	60,000	61,000	62,000	63,000	68,000	
			57,441							
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
地域の歴史や文化の保存・継承		魚津の歴史や文化の紹介とともに、洞杉や米騒動などの地域遺産を検証し、保護・継承に努めます。また、魚津市史(現代編)を刊行し、市の歴史に対する市民の理解を深めます。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
文化財保護団体育成事業		指定無形民俗文化財保護団体の実施する活動を支援します。								
文化財保護・管理事業		国指定の特別天然記念物である埋没林をはじめ市内の文化財を保護管理し、文化財保護審議委員会を開催し文化財の指定・調査を行います。								
市史刊行・普及事業		新しい魚津市史を編纂するため調査資料収集を行います。								
基本事業②の目的 【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合	%	39.0	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	43.0	48.0	
			40.0	39.0	40.0	41.0	42.0			
たてもんボランティア参加人数	人	153	300	310	320	330	340	350	400	
			200							
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業③の目的 【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的 【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度			

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	33	施策名	文化の振興
-------	----	-----	-------

22年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述)
	・新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館の自主事業の参加者は21年度46,138人であったが、22年度57,441人と59%増と大幅な増となっている。 ・市民アンケートでは、芸術文化活動に触れ、教養が高まったと感じる市民の割合及び、郷土の歴史や伝統などが継承され、自然に恵まれた文化が豊かであると感じている市民の割合は22年度は前年に対しやや減少している。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述)
	①新川文化ホールと天神山交流館等の文化施設があり、その中で行われている文化芸術活動は、近隣他市、同規模市と比較しても充実している。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述)
①文化芸術については、人それぞれの興味のあることについては、5万弱の人口規模の魚津市で開催できる企画は、市民個々が得意な分野の期待水準に比較して低いかもかもしれない。それを補うため、県内各文化施設が連携して企画するようにしている。	
2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取組み内容を中心に記述)	
①小中学校の時から文化芸術に親しんでもらうため、新川文化ホールでの芸術鑑賞や伝統芸能、音楽鑑賞を実施している。 ②音楽の街づくり事業による小中学校、公共施設への出前演奏 ③新川文化ホールのミラージュギャラリーでの市美術協会の開催 ④歴史民俗博物館の展示への市内小学6年生の鑑賞・解説授業 ⑤たてもんボランティア募集により、郷土の伝統を守る意識の向上を図った。 ⑥歴史と文化の薫るまちづくり事業として、松倉城跡、魚津城跡、天神山城跡に解説板や立体復元模型などを設置した。また、小学生高学年を対象に歴史副読本を作成した。	
3. 施策の課題認識及び23年度の取り組み状況(予定) (22年度末で残った課題、既に23年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)	
①旧十二銀行米倉は、米騒動の歴史を語る上で大変貴重な米倉であり、国の記念物登録へ向け関係機関と協議を進める。 ②片貝川上流の南又谷流域に群生している樹齢500年以上と推定される天然杉の群生(洞杉)について、学術的に価値が高いと考えられるので、市文化財指定に向け取り組みを進める。 ③学びの森天神山交流館について、屋上防水、調理室の整備、食堂厨房の整備等を実施し、機能の向上を図る。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※今後の施策の方向性※ 維持 新川文化ホールや新川学びの森天神山交流館で実施している小中学生や一般を対象とした芸術文化鑑賞事業や、各種団体で行われている芸術文化活動は近隣と比較して高い水準にあると考えられる。今後も引き続き、水準の維持に努めていきたい。 文化財の保存・継承については、文化財保護団体の実施する活動を引き続き支援していくとともに、新たな文化財の保護顕彰に取り組んでいきたい。
---	---

行政経営戦略会議指示事項	部会評価のとおり推進すること。
--------------	-----------------

施策の トータル コスト	区 分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円							
C. 事務事業に要する年間総時間	時間							
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円		0	0				
E. トータルコスト (B+D)	千円		0	0				
効率性 指標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円	0	0				
	F. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上							
	G. 人件費 (定義式 : D/人口)	円	0	0				
同上								
H. トータルコスト (定義式 : E/人口)	円	0	0					